

令和3年1月29日

まちづくり委員会資料

請願・陳情の審査

陳情第66号

梶が谷駅自転車駐輪場増設に関する陳情

建設緑政局

陳情第66号 梶が谷駅自転車駐輪場増設に関する陳情

1 梶が谷駅周辺の駐輪場等の状況

(1) 駐輪場の設置状況

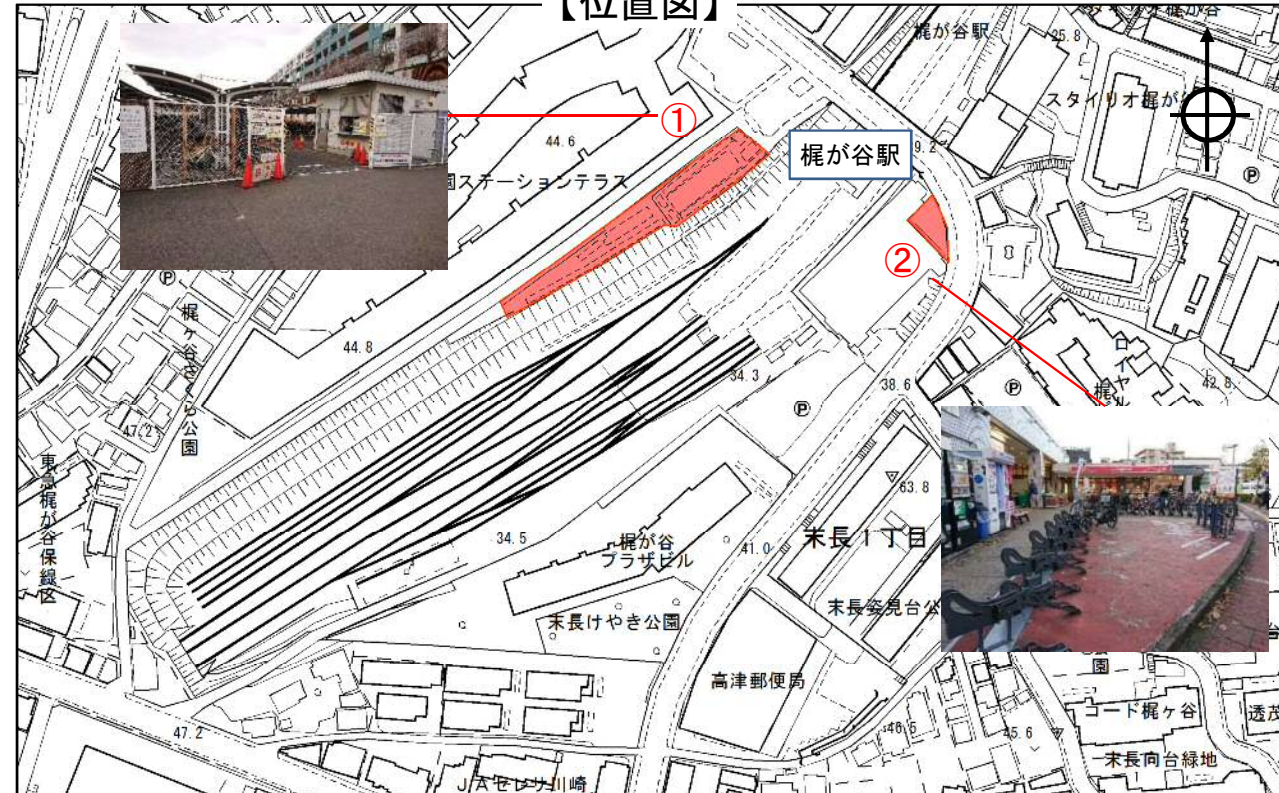
○梶が谷駅前周辺の交通環境改善に向けて、平成17年の東急田園都市線の車庫線新設整備に合わせて、東急電鉄株式会社主体による駅前広場整備や駐輪場が設置され、本市においては駅前の歩道拡幅整備を行うなど連携した取組を進めてきた。

<駐輪場の概要>

(令和3年1月本市調べ)

駐輪場名(設置)	営業時間	収容台数	利用形態
① 東急 梶が谷駅駐輪場 (東急電鉄株)	24時間	828台	一時利用 自転車: 160円 原動機付自転車: 320円 定期利用 自転車: 2,620円 (一ヶ月) 原動機付自転車: 3,670円
② エコステーション21 梶が谷東急ストア駐輪場 (株式会社東急ストア)	24時間	84台	1時間無料 その後2時間毎110円
合計		912台	

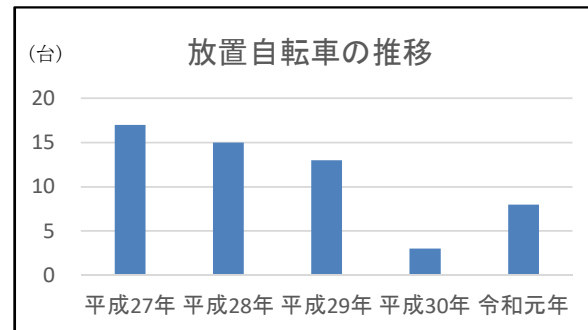
【位置図】



(2) 放置自転車の状況

- 昭和62年に当該駅周辺を放置禁止区域に指定したことで、指定前の放置台数に比べ1割程度と削減効果が図られている。
- 直近の実態調査(平日の自転車利用ピーク時: 16時台)においては、平成27年から令和元年までの5年間の放置自転車は18台以下で推移している。

(平日16時台本市実態調査)



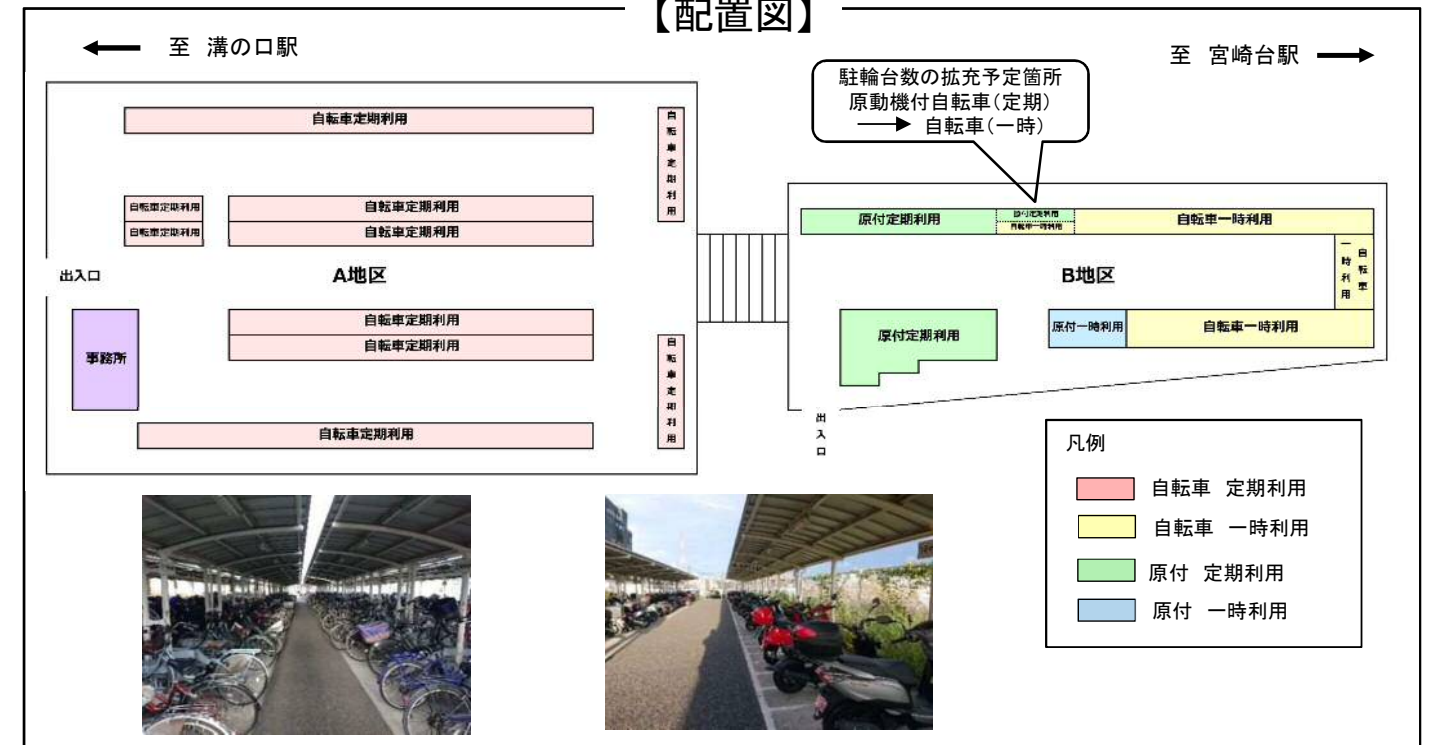
2 東急梶が谷駅駐輪場の概要

(1) 収容台数

- 平成17年11月、東急電鉄株による駐輪場の整備
 - ・自転車573台、原動機付自転車200台、合計773台
- 令和元年1月、利用状況を踏まえ原動機付自転車スペースを自転車スペースに配置見直しを行い、自転車の収容台数を拡充
 - ・自転車644台、原動機付自転車184台、合計828台 【現時点】
- 今後、利用状況に応じた柔軟な対応を予定
 - ・自転車715台、原動機付自転車168台、合計883台

+55台

【配置図】



(2) 利用状況の推移

(平日16時台本市実態調査)

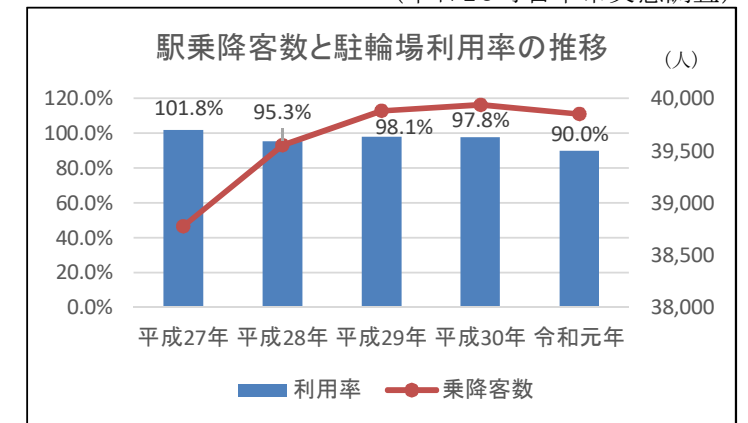
[梶が谷駅乗降客数]

○直近3年間においては約40,000人で推移

[駐輪場利用率(平日16時)]

○平成27年から平成30年までは利用率95%以上で推移し、令和元年は配置見直しを行い90%に減少

○直近の利用状況を確認したところ、自転車と原動機付自転車を含めた利用率は66.7%



<直近の利用状況>

(令和2年12月16日16時台本市調べ)

	収容台数	利用台数	利用率
自転車	644	472	73.3%
原動機付自転車	184	80	43.5%
合計	828	552	66.7%

陳情第66号 梶が谷駅自転車駐輪場増設に関する陳情

【陳情要旨】

○梶が谷駅周辺の自転車駐輪場が満車になり、自転車を置く場所がなく、やむを得ず駅近くに自転車を置くと、市の回収係に自転車を持っていかれてしまうため、駐輪場を増設してほしい。

【陳情に対する本市の考え方】

○駅周辺の駐輪場については、民営駐輪場が2施設整備されており、このうち、東急電鉄㈱が管理運営を行っている東急梶が谷駅駐輪場については、平成17年の整備後、利用状況に応じた配置見直しを行い、収容台数の拡充が図られている。

○これにより、令和元年の本市実態調査による利用率は90%に減少しているところであるが、年度始め等において一時的に満車になる状況もあったと東急電鉄㈱から伺っている。

○直近の平日16時台における利用率は、66.7%と比較的余裕はあるが、東急電鉄㈱において、配置見直しによる更なる収容台数の拡充を図ることとしており、見直し時期については、利用状況に応じて実施していくものと伺っている。



○引き続き、東急電鉄㈱と連携し利用状況を把握し、推移を確認していく。

○放置自転車の抑制に向けた撤去活動や、整理誘導員による放置防止の啓発活動、駐輪場への案内・誘導を着実にやっていく。

○こうした取組を踏まえ、今後、一層の駐輪需要の増加が見込まれる場合には、東急電鉄㈱と連携し、その対応についても協議・調整を進めていく。